

## さいたま市行財政改革推進プラン2010の進行管理について

### ◆プランの策定(H22.12)

●市のすべての事務事業について、「そもそも論」から見直し、徹底的に無駄を排除する  
「事務事業総点検」を実施



●市民生活や財政面において著しい影響があり、特に市民意見を参考とすべき事業について、そのあり方や改革の方向性を公開の場で議論する  
「行財政改革公開審議」を実施

**1966事業**

**30事業**

市民意見や有識者会議委員の意見等を踏まえ、見直しを行う事業を「改革プログラム事業」として位置づけ



さいたま市行財政改革推進プラン2010を策定

**192事業**

### ◆プランの進行管理(H23～)

プランに掲げた改革プログラム事業については、年度単位で進行管理を実施し、内部評価、外部評価を経て「行財政改革白書」として公表

#### 内部評価

各所管課において工程表に記載した項目の「平成22年度の実績」及び「平成23年度当初の状況」を照会 《5月中旬》

- 取組内容
- 成果指標
- 財政効果額
- 削減人員

⇒ 行財政改革推進本部と所管課とのヒアリング  
これらの内容を踏まえ自己評価 《6月中旬》

## 外部評価

### 《市民の視点》

#### ① 行財政改革公開審議 《7月中旬実施》

対象：見直しや再構築が必要な30事業

- ・改革プログラム事業(192事業)の中で見直しや再構築が必要な事業
- ・市民生活や財政面において著しい影響があり、特に市民意見を参考とすべき事業

#### ② 行財政改革市民モニター制度 《6～7月に実施》

対象：192事業全体

### 《有識者の視点》

#### ③ 行財政改革有識者会議 《7月下旬実施予定》

対象：192事業中、10事業程度

### 《有識者会議による外部評価までの手順》

内部評価結果を踏まえた192事業の一覧表を事前送付  
➤改革プログラム事業(192事業)の中で意見を附す必要がある事業を各委員より抽出いただく。

委員より抽出いただいた事業を行財政改革推進本部が整理

次回(7月下旬)の有識者会議において、所管課からの内部評価を説明後、意見・アドバイスをいただき有識者会議委員としての意見を集約する。

委員及び市民からの意見を踏まえた、今後の改善内容を記載した「行財政改革白書」を作成。毎年度市民にわかりやすく公表を行っていく。